

全国美術館会議ホームページ運営研究部会 第19回会合 報告

日時：2010年5月28日（金）9：30～12：00

会場：国立国際美術館 講堂

〒530-0555 大阪市北区中之島4-2-55

出席者：

- ・ ホームページ運営研究部会
 - 宮武 弘 （福島県立美術館：幹事）
 - 浜田拓志 （和歌山県立近代美術館：事務幹事）
 - 大嶋貴明 （宮城県美術館）
 - 平井章一 （国立新美術館）
 - 渡邊佐栄子（和歌山県立近代美術館）
- ・ 株式会社パークウェーブ
 - 本造雅美
 - 上坂真由
- ・ 事務局
 - 小林豊子

おもな内容：

1) ホームページの次期リニューアルにあたっての改善案

- ・ 会員ログインの表示がわかりづらい。
 - 会員ログインを設け、一般向けページと会員向けページを分ける。
- ・ サイト内検索の表示方法
 - トップページの上段に二重表示されているが、他ページとの連携上、削除できない。合理的なレイアウト方法を今後検討する。
- ・ 会員ページの活性化
 - 他の研究部会から情報アップロードの要望あり。ただしセキュリティ上の問題大きい。
- ・ メニュー構成の見直し
 - 項目を見直して階層構造を簡略化する。

2) 「むし・かびノート」について

- ・現在、「むし・かびノート」は美術館の内部事情に触れる部分があるため、一般公開していない。この件に関して、

(1) 公開して差し支えない範囲で一般向け「むし・かびノート」を作成するということはできないか。

→ホームページの利用率アップは見込めるが、大掛かりな、負担のかかる作業となるほか、著作権などクリアすべき課題が多く、会員ページでの公開に留めた方がよい。

(2) ホームページの次期リニューアル後は、一般向けページに「むし・かびノート」のバナーを作らない。

3) 速報版の部会報告等について

- ・総会、各研究部会が行われてから、正式な報告が出されるまでの間、速報版として簡略な報告をホームページに掲載したい。総会については議案書のPDF版を速やかに掲載してはどうか。研究部会等については、事務局から各部会に要請する。

4) 事務局との連携の強化について

- ・研究部会の情報については、当研究部会に速やかに情報が伝わり、事務局との連携が良く保たれている。

- ・しかし全美が後援名義を与えた事業、理事会による声明文など、事務局内にとどまりがちな重要な情報については、今後速やかにホームページに反映させたい。例えば、事務局で起案をする際に、ホームページ掲載許可に関する一文を入れる等の作業を行えば、当部会にスムーズに情報が伝わるのではないか。

- ・事務局業務を一部分担している当研究部会については、その位置づけを他の研究部会と別にしていく必要もあるのではないか。

5) 美術行政関連情報の充実

文化庁ホームページ上などに掲載されている美術行政関連の情報をできるだけチェックし、その動きをホームページに掲載する。またそのような情報について速やかに掲載許可をもらえるような仕組みを考える。

6) パークウェーブ社からの提案

- ・CMS（コンテンツマネジメントシステム）の導入について、

（１）コンテンツの体系的管理によって更新作業の簡便化、省力化を図る。

（２）一般ページと会員ページの区別についても、違和感のないレイアウトを実現できる。

（３）ホームページの内部構造を大きく変更することになるため、一定の初期投資が必要となる。

→導入のメリットは大きい。見積もり精査の上、全美ホームページに導入可能か事務局に諮ることとする。

- ・「いもづる」データベースシステムの紹介

7) その他

- ・次回会合は秋頃開催とする。